

# 実は長持ち！ 古い木材のおはなし

生存圏  
何??



法隆寺五重塔  
世界最古の木造建築で  
千三百年前に建築された。

木材ってそんなに長持ちするの？

木の表面は茶色っぽくて古そうだし、割り箸に使われてる木なんて僕でも簡単に折れちゃうし…

例えば測色計で色を測ったり、力学試験機で強度を測ったり、化学分析をして成分量を測ったり…

これまでの研究で何百年という時間をかけて木材の色や強度が変わることや化学成分が減ることがわかってるんだ！

私もそうやって変化してきたんだよ。

スピードは全然違うけど人間みたいに变化しているんだ…

その君！私たちが教えてあげよう。

わあ!?

100歳

1500歳

木材の中は意外と丈夫なんだよ？ 私たち木材は千年以上建築物を支える強さがあるんだ。百年はまだまだ赤ちゃんなのさ！

バブー！

「熱処理」という方法を使って古材の性質を再現できることも発見されたんだ。

あつい！キケン！

何してんの!?

Oh…

こうやって新しい木材に熱を加えると短時間で古材のような見た目の木材を作れるんだ！

疑似古材を本物の古材と比較することで古材の理解を深め、また、文化財の修復材料としても使えるんだよ。

えっ!?! 木材ってそんなに長生きなんだ！

でも…千年以上経ってるのに本当に大丈夫なの？

うむ。それを調べるのが「経年変化」の研究なのだよ。

木材が古くなるとどうなるのか、木製文化財に何か影響があるかなどを研究するんだ。

## 経年変化

木材が長い時間をかけて物理的・化学的に変化していくこと。

へー。どうやって調べるんだろ。

百年前、二百年前、千年前…と色々な時代の歴史的木造建築から古材を集めて詳しく調べるんだ。\*

これからは次の百年、千年に向けて経年変化の予測ができるように研究を続けているんだ。

まだまだ調べていくことが沢山あるんだね。

私たちのこと分かってくれたかな？

うん！木材のことがよさきに気づいたよ！

ありがとう！

君ってすごい素質があるんだね。

※『生存圏って何?? vol.1「材鑑調査室」のおはなし』参照